

# 沿岸定線観測速報 ちば (2019年4月)

千葉丸：4月2～10日

千葉県水産総合研究センター

千葉県農林水産技術会議

平成31年4月18日

黒潮は、房総半島沖を北東へ流れていました。離岸距離は平年並みでした(図2)。  
 水温は、銚子・九十九里及び外房ともにおおむね平年並みの水温でした(表1)。

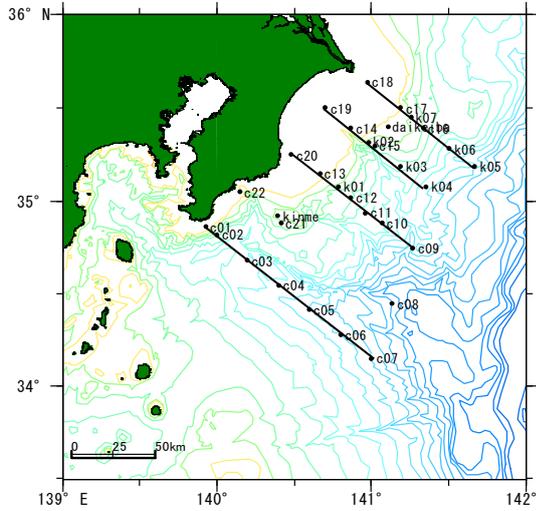


図1 調査点 (K1,4,5は欠測)

線は北から犬吠崎, 九十九里, 太東岬, 野島埼ライン

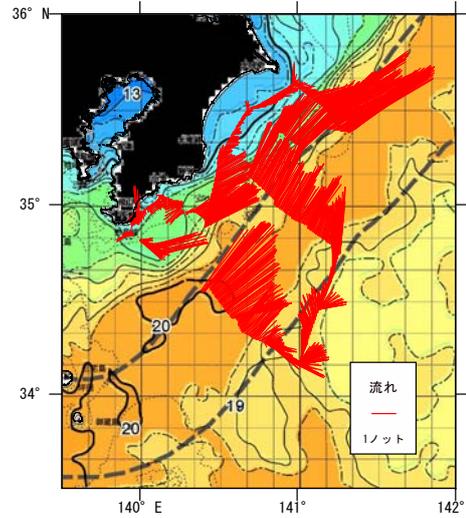
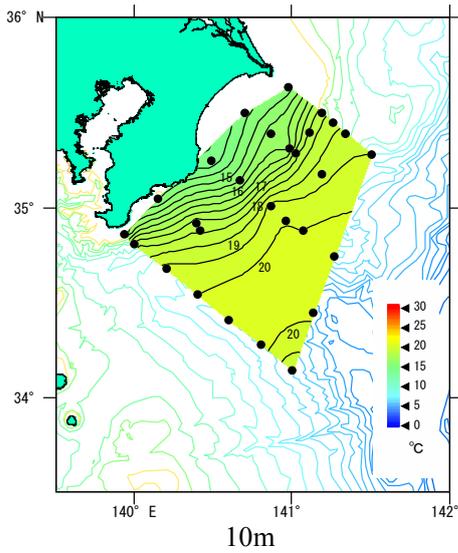
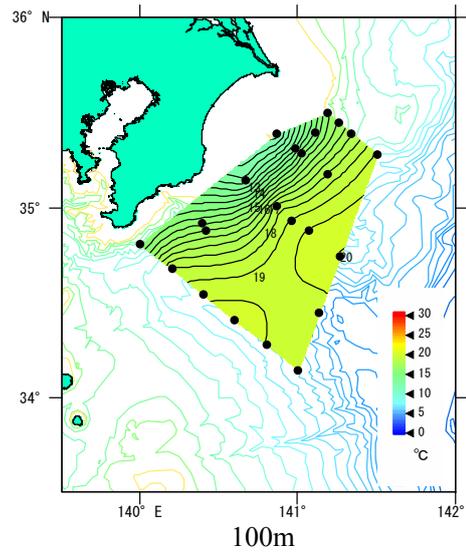


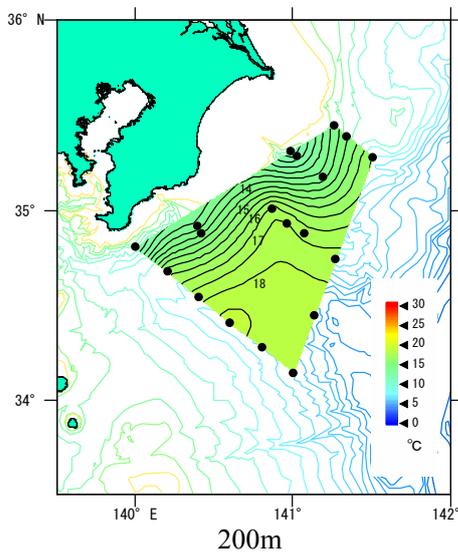
図2 観測時の海況



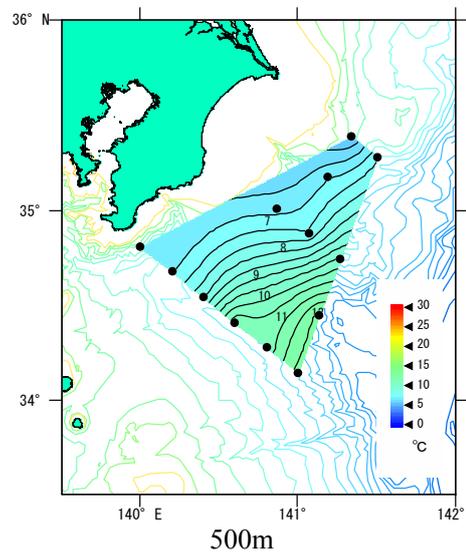
10m



100m



200m



500m

図3 水深別の水温分布

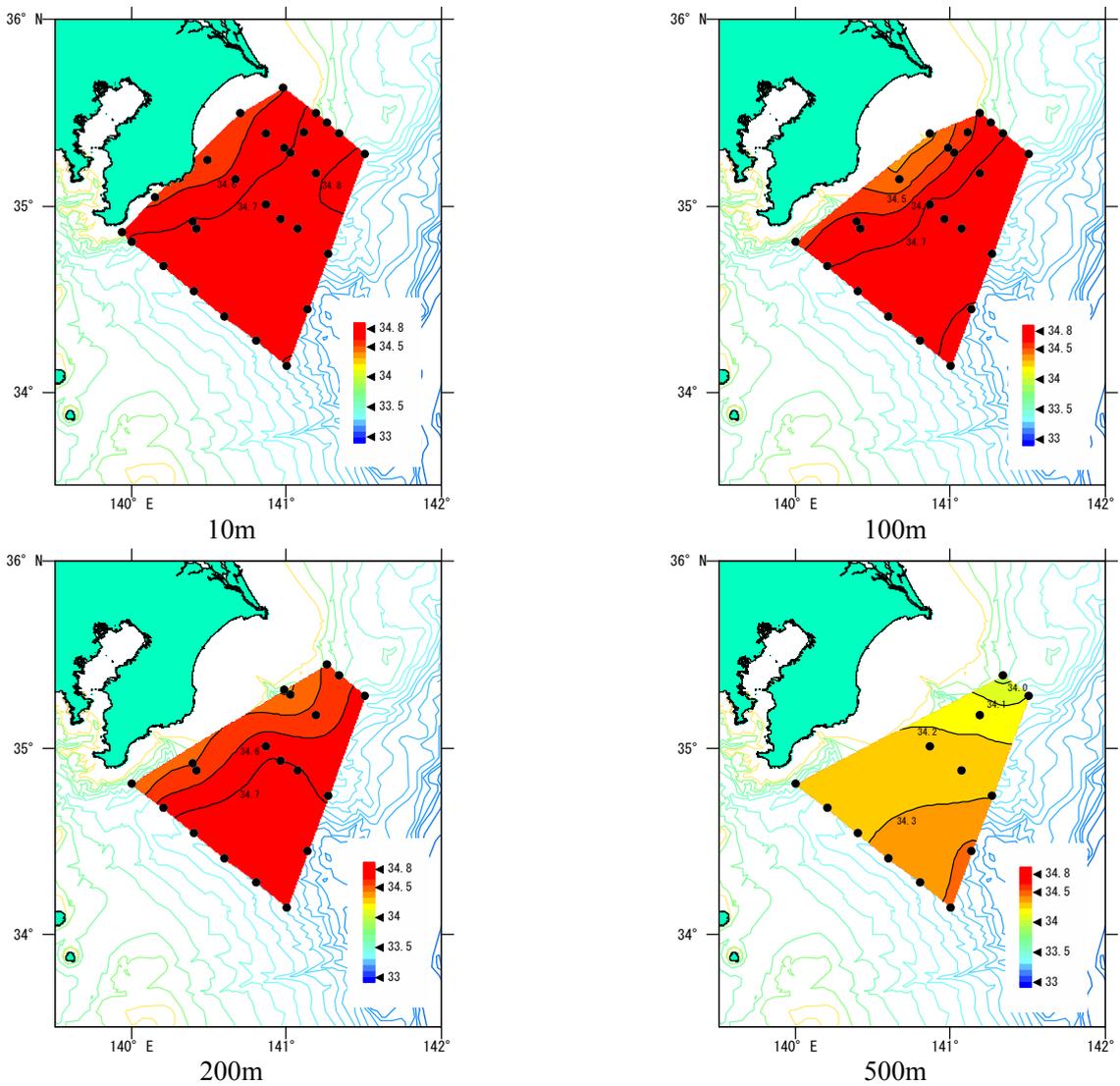


図4 水深別の塩分分布

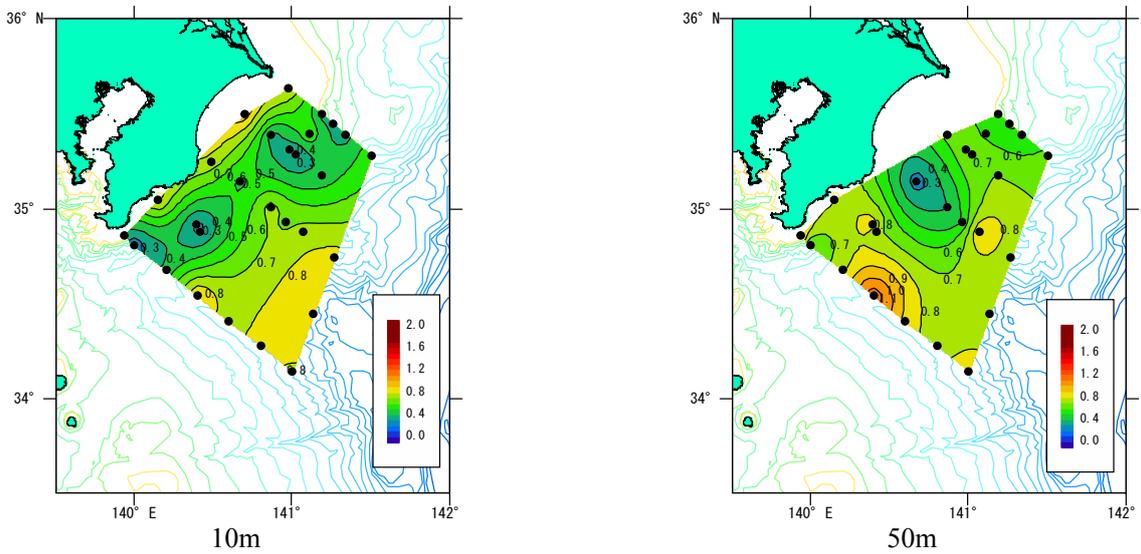


図5 水深別のクロロフィル分布 (単位:  $\mu\text{g/L}$ )

流況は、黒潮やその北縁では2~4ノットの北東へ向かう流れ、ごく沿岸は1ノット以下でした(図2)。海面水温は12~22℃でした。犬吠埼ラインの陸棚斜面付近に5~6℃の冷水塊が見られました。(図3, 6)海面の塩分は、34.5以上でした。犬吠埼ラインの陸棚斜面付近には34以下と非常に低塩分の水塊が見られました(図4, 7)。

クロロフィルは、銚子・九十九里海域は低く、外房のやや沖合が比較高めでした(図5)。

勝浦沖キンメ場の水温は表層から底層まで去年より2~4℃高め、銚子沖台形場は去年並みでした(図8)。

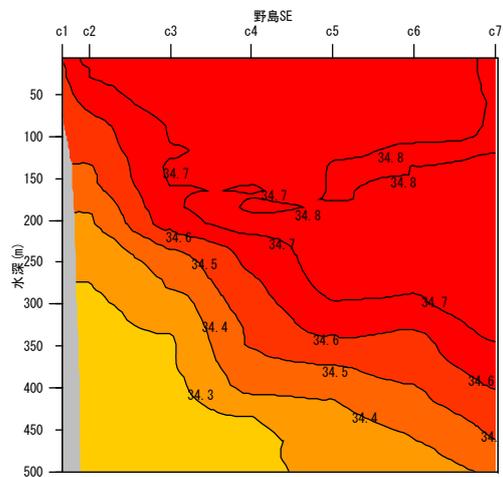
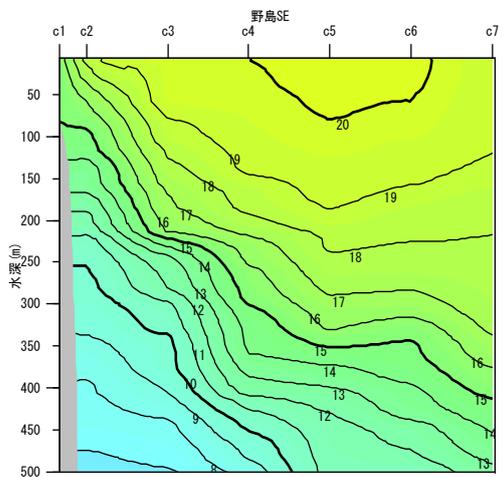
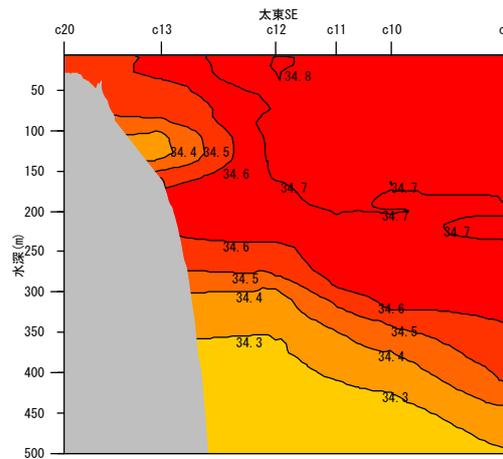
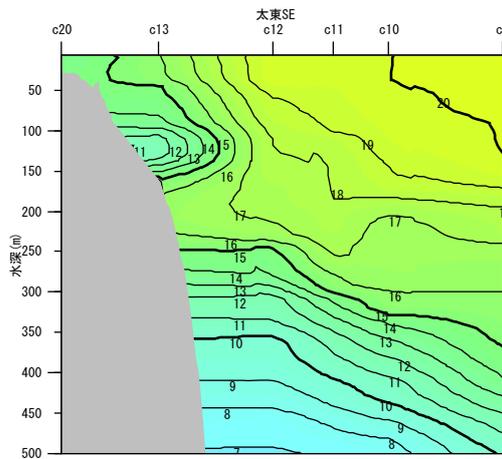
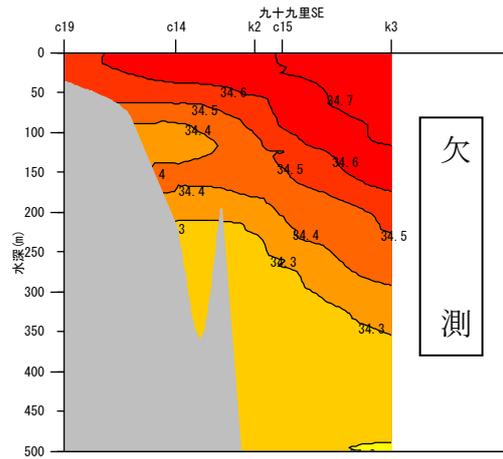
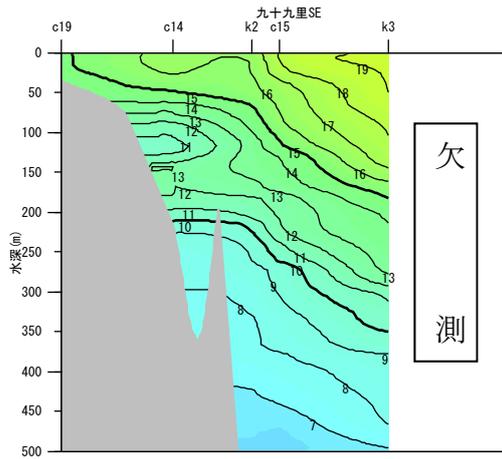
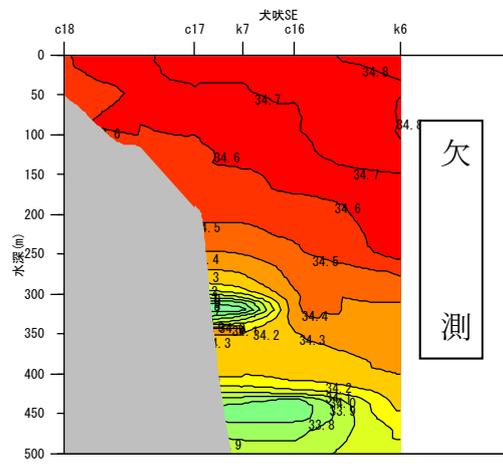
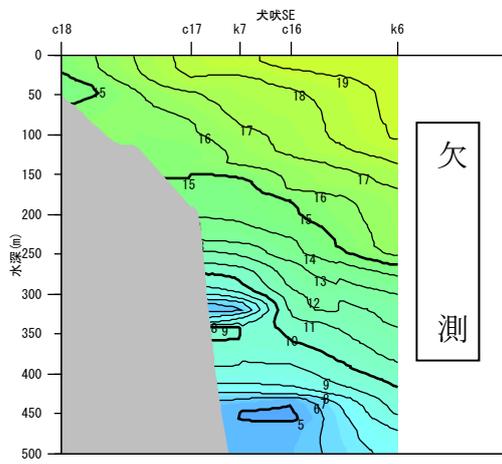


図6 水温鉛直分布  
 図7 塩分鉛直分布  
 いずれも上から犬吠埼，九十九里，太東岬，野島崎ライン（図1参照）

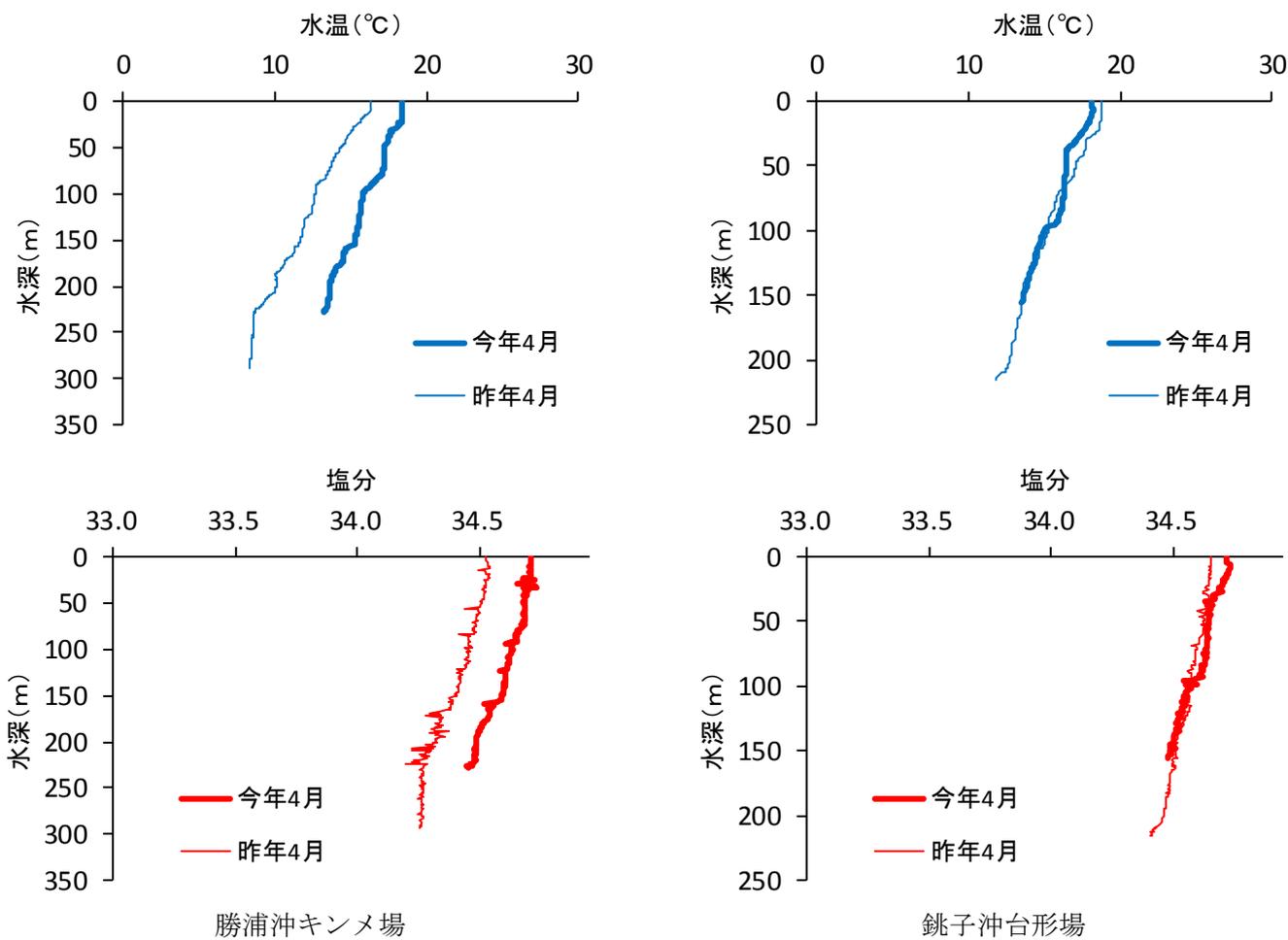


図8 勝浦沖キンメ場・銚子沖台形場の水温塩分鉛直分布

表1 海域別平均水温 (°C) と評価

海域	0m		50m		100m		200m	
銚子・九十九里	16.6	平年並	16.1	平年並	15.0	平年並	13.5	平年並
外房	17.4	平年並	16.8	平年並	16.0	平年並	16.1	やや高め

\*水温評価点 (銚子・九十九里海域：C14~20 計7点)  
(外房海域：C1,C3,C11,C13,C21,C22 計6点)

\*沿岸水温評価の目安

きわめて高め	2.0 $\sigma$ ~	
高め	1.3 $\sigma$ ~ 2.0 $\sigma$	
やや高め	0.6 $\sigma$ ~ 1.3 $\sigma$	
平年並み	0 ~ 0.6 $\sigma$	
平年並み	0 ~ -0.6 $\sigma$	
やや低め	-0.6 $\sigma$ ~ -1.3 $\sigma$	
低め	-1.3 $\sigma$ ~ -2.0 $\sigma$	
きわめて低め	-2.0 $\sigma$ ~	( $\sigma$ : 標準偏差)

<資料> 関東・東海海況速報 (図2 ; 4月2日分)